

スポーツクラブ人国記 (7)

OCUSA

創立

平成元年8月24日、学生部長、西本吉助先生の呼びかけで、「体育系サークルOBと学生部長との懇談会」開催。

先生から、明るく楽しいキャンパス作りの第一歩は、市大スポーツの活性化と、スポーツ施設の充実と考える。

しかし、現状は憂うべき状態にあり、OB諸氏の忌憚のない意見と支援を願いたい。とのことであった。

田中記念館に集った16人の各クラブOB会の代表は、それぞれのクラブや各OB会の現状報告、そして、学生部長の提案に対し、種々議論を重ね、「市大スポーツ一層の興隆」を使命とし、「スポーツ会館を始めとする施設の充実」を図るため、体育系OB会の大同団結（OB会連合の結成）が決った。

体育系OB会連合会設立に向け、3人の世話人、津下（硬式テニスS33）山本（応援団S38）岩佐（体育会S38）と学生部長、木股学生課長（柔道S46）の世話人は、種々活動、会合を重ね、平成2年9月8日の設立総会

を迎えた。

OSAKA CITY UNIVERSITY
SPORTS ASSOCIATION
OCUSAのスタートであった。

優秀クラブ・選手の表彰

OCUSA設立の翌年から、毎年、表彰を行い、OCUSAの総会で各賞を授与している。

学生部、体育会本部、OCUSAが審査委員会を結成して、OCUSAからは3名の委員を出し、体育会から上がって来る候補者の審査を行っている。



表彰式

■表彰の種類

- 学長表彰
- OCUSA会長表彰
- 教育推進本部長表彰
- 体育会会長表彰
- 体育会幹事長表彰
- OCUSA特別表彰
- 最優秀クラブ賞
- 最優秀選手賞
- 新人賞
- 優秀クラブ賞
- 優秀選手賞
- 特別賞

本年、平成27年度で第25回となる。

他大学スポーツ施設の視察

「健康スポーツ総合センター」の建設こそが、我々OCUSAにとって、最大の目的であり、希望でもあります。その建設にあたって、理想像は如何にあるべきかを明確にするため、OCUSA代表、大学体育会関係者、学生課がチームを作って、他大学のスポーツ施設を視察してきました。

- 平成3年度 関西学院大、同志社大
- 平成4年度 広島大
- 平成5年度 法政大、東京都立大、横浜市立大、他

全体的な印象としては、各大学共、スポーツ施設には大変力を入れていて、体育館、武道場、プール、数面の



関西学院大学見学のメンバー

グラウンドなど、至れり尽せりの感であった……。

（会誌「OCUSA」第4号より）
中川和恒（S37ラグビー）

大阪市立大学スポーツフェスタ （高校生招待会）

運動部高校生の皆さんと、その指導員をお招きし、文武両道を目指す高校生の入学のキッカケとなる、市大生とのスポーツを通じた交流、ふれあいの場。

平成19年秋から始まり、毎年、指導の先生方を含め、一〇〇〇人以上の応募。

主催 大市大体育会とOCUSA
後援 大阪市立大学

協賛 大阪市立大学教育後援会

■招待会の内容

- 現役学生と高校生との合同練習会
- 招待高校生同志の交流試合
- 昼食会などで、スポーツや入試を話題とする、ふれあい懇談会



剣道部の招待会風景

■参加クラブ

剣道、柔道、日本拳法、水泳、硬式野球、アメリカンフットボール、ラグビー、陸上競技、男子バスケットボール、フィールドホッケー、ソフトボール、アーチェリー、そして応援団。

■招待会の効果

○高校生の勉学や、大学でスポーツをすることに對するモチベーション高

揚

○市大生は、高校生と接することで、部員同志、現役とOBとの絆、緊密化

○現役はもとより、OBにとっても、一大イベントとなってきた

■活動情報媒体誌の発行

スポーツフェスタを中心とするOCUSAの活動や、体育系クラブの情報をまとめた冊子を9000部作製し、スポーツフェスタ参加の高校生や、指導の先生がたや、市大新入生、体育会クラブ部員、有恒会会員等に配布した。

■オープンキャンパス

平成27年8月6・7日、医学部と看護学科。8・9日、杉本町キャンパスで医学部以外全学部のオープン。

学部説明会や施設見学、個別説明会。最終4日間で23000人以上、地方から大型バスを仕立て、受験志望者や、ご家族の方々が来学、過去最高の人数。体育会各クラブは練習を公開し、部活をオープンし、歓迎体制を敷いた。

OCUSAと体育会本部は、受付テントを設営して、体育会各クラブの活動状況、学内スポーツ施設の「案内ちらし」6000枚を配布した。

入学案内と共に入部勧誘も行った。



オープンキャンパス風景 (提供：大学広報室)

■医学部AED講習

スポーツに傷害事故はつき物とは言え、事故発生時に、万一、不手際があった場合、クラブ部員の生涯、及び保護者に多大な影響がある。

又、大学やクラブ活動にも波及する。このため、練習の安全性を更に高めるべく、医学部LSC(ライフサポートクラブ、学生部員60名)と学生支援課の協力を得て、AED講習会を体育会部員が毎年受講している。

対象 体育会部員とOB、OG

講習 年に8回、各一時間

場所 医学部SSC(メディアックス) 申込 体育会本部(クラブ単位で)



AED講習会

実績 H26年度、25クラブ、延120名

※杉本町キャンパス内AED8台

■就職セミナー

体育会所属クラブの学生限定で、就職セミナーをOCUSA主催で開催。勉学、研究活動のみならず、課外、体育活動に専心している文武両道の学生のために、昨年から始めている。本年(H28・3・9)、体育会本部でも担当の役員を決めて、有名企業6社を招き開催した。参加学生80余名。

■ゴルフコンペ

平成10年11月、奈良万葉カントリー倶楽部で第一回の開催。

当初は、OCUSAメンバーだけでスタートしましたが、昨今は、オール大阪市立大学OBコンペとして回を重ねて、本年（H28）では19回目を迎えます。

昨年（H27）六甲カントリー16組56名。

本年は、飛鳥カントリーを予定。

予定日は、10月の木曜日、詳細未定。

OBの各位、多数のご参加を……

展 望

OCUSA設立当時の総合スポーツ会館建設の夢は、大阪オリンピック構想の頓挫や、バブル経済の終焉と共に消えたが、明るく楽しいキャンパス作りは、市大スポーツの興隆と、スポーツ施設の充実にあることには変わりはない。

野球場のグラウンド整備、砂入り人工芝のテニスコート、陸上競技場のトラックやプールの改修など行われてきたが、今、人工芝グラウンド新設の要望が昂ってきている。

ラグビー、医、ラグビー、医、サッカー、アメリカンフットボール、陸上競技など各クラブとOB会を中心としたワーキングチームを作って、グラウ

ンド整備の方向性、実現に向けた活動の方針を検討すると共に、大学当局や、関係組織への働きかけを行っている。

現在、天然芝、或いは人工芝のグラウンドは、殆どの大学で普及されていて、関西学生リーグ戦は芝生で行われているので、設備の無い大市大は、試合はおろか練習さえも満足に出来ない状態。

又、高校生招待スポーツフェスタや、オープンキャンパスで来学される年に数万人の高校生や家族、指導教員の目から見た母校キャンパスの景観は、多くの他大学のそれとは比較し得ない。

そして、新入学生が体育クラブに入部するモチベーションも、試合や練習に安全で安定したコンディションのグラウンド（人工芝）の方がアップする。実現のために、先立つものは「金」であり、これが調達出来なければ、「人工芝」は絵に描いた餅。

学生支援課は、大きな改修は、クラブOBの協力が無いと困難である……。はばたけ夢基金は、「大阪市立大学夢基金」として募金を継続している。

初代の松本良諄会長は、常に、OCUSAの財政基盤の確立を唱えられた。

大学のスポーツ会館建設の計画に対して、OCUSAも「建設が具体化する

る時期に合わせて、募金活動を行うべきである」と言われていました。

大学当局は前向きな姿勢を示して欲しい。そして、OCUSAも協力して、

具体的な活動を進めてゆきたい。大学、体育会、OCUSA三位一体の強い絆で、高い壁を乗り越えよう。

（津下暢男 記）

